発

【3年】

9画

はねる

くん　おん　ハツ・ホツ

發

なりたち　旧字体は發。草を両足で踏みにじり、草を除く意味の登（「癶」は殺す意味）と弓との会意形声字。人を殺すために弓を〝放つ（射る）〟ことを表した字。転じて、〝飛び出す（出る）・興る・始まる〟などの意味に使われる。

いみとじゅくご

▼弓を放つ。撃つ。

発射…❶弓を射放つこと。❷弾丸やロケットなどを撃ち出すこと。

発砲…銃砲を撃つこと。

▼出る。出かける。

出発…出かけること。

先発…先に出かけること。

▼明るみに出す。あばく。

発見…初めて見つけ出すこと。

摘発…悪事をあばいて明るみに出すこと。

▼興る。起こる。

発生…❶物事が起こること。❷生まれること。

▼始まる。

発足…組織が作られて活動が始まること。

▼成長する。

発達…❶進歩して盛んになること。❷成長して良くなること。

廃

12画

はねる

くん　おん　ハイ　すたれる・すたる

なりたち　旧字体は廢。病気を起こし、人の働きを失った癈（いた）の意味の發と、家の意味の广（まだれ）との会意形声字。家の働きを失った家〝廃屋〟を表した字。〝すたれる〟こと。転じて、〝やめる〟こと。

いみとじゅくご

▼廃れる。駄目になる。

廃屋…人が住まなくなったあばら屋。

廃虚…建物や町が荒れ果てた跡。用例戦火で廃虚となった町。

荒廃…荒れ果てて、廃れること。用例荒廃した山地。

興廃…盛んに興ることと廃れて駄目になること。

▼やめる。

廃止…やめること。例虚礼廃止

廃棄…使うのをやめてすてること。例廃棄処分

廃業…今までしていた職業や商売をやめること。

廃嫡…嫡子（後継者）としての身分を取り上げること。

よみかた　廃案・廃家・廃刊・廃校・廃合・廃疾・廃人・廃品・改廃・退廃・撤廃

偶

11画

はねる

くん　おん　グウ

なりたち　頭が大きく手が長い人真似猿（ひとまね）の形をかたどった禺と亻（にんべん）との会意形声字。人の形を真似（ねま）て作った〝人形〟を表した字。二人組みになって耕す耦（うど）の意味を借りて〝対・連れ合い〟の意味に用いられ、遇の意味を借りて〝たまたま〟の意味に用いられる。

いみとじゅくご

▼人形。

土偶…土で作った人形。

木偶（くで）…木彫りの人形。木偶（くで）の坊。

偶像…「像」も人をかたどった人形の意味。土偶も木偶も偶像だが石や金属で作った英雄や神仏の像をいうことが多い。

▼対。連れ合い。

配偶…対にする、の意味。連れ合い。夫婦。

偶数…二の倍数で、対になる数。反奇数

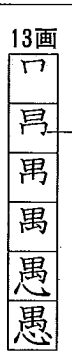
▼たまたま。

偶然…たまたま。思いも寄らぬこと。用例偶然に友人に会う。（会おうと思って会ったのでなく、たまたま出会うこと。）

偶発…偶然に発生すること。用例偶発的な事件。

愚

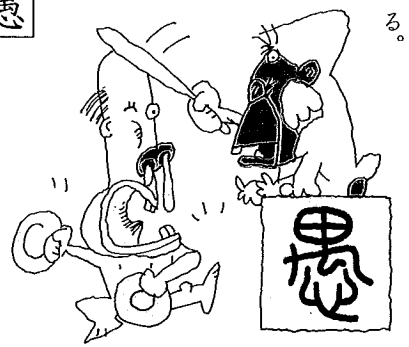
13画



はねる

くん　おん　グ　おろか

なりたち　頭が大きく手が長い人真似猿（ひとまね）の形をかたどった禺と心との会意形声字。猿程度の知恵という意味の字で〝おろかな〟心を表したもの。〝頭の働きが鈍い・判断力が弱い〟こと。転じて、謙称に用いる。



いみとじゅくご

▼愚か。

愚鈍…愚かで頭の働きが鈍いこと。

暗愚…愚かで道理に暗いこと。また、道理の分からない人。

愚劣…愚かで劣っていること。

馬鹿（かば）げて下らないこと。

愚直…馬鹿（かば）正直。正直過ぎて気が利かないこと。

▼愚かな。

愚見…愚かな意見。自分の意見の謙称。

愚策…❶愚かな策略。❷自分の計画の謙称。

愚論…❶愚かな議論。❷自分の意見の謙称。

愚息…自分の息子の謙称。

愚問…❶下らない質問。❷自分のする質問の謙称。

よみかた　愚僧・愚痴・愚民